

# ホシザキ電機島根本社工場 樹木マップ

## グリーンファクトリーへの思い



**01 エノキ**  
漢字で「榎」と書く。実は干し柿のように甘く、秋になると黄色の紅葉が美しい。エノキタケはエノキの枯れ木に生える。

**02 シダレヤナギ**  
耐水性が強く深く根をはるので水辺に植栽される樹。敷地境界上にソメイヨシノとともに交互に植えられている。

**03 ケヤキ**  
樹の形は扇のような形になる。木目が美しいので「けやけし(際立っている)」という意味から名付けられた。

**04 ウメ**  
この花の開花が春の訪れを告げる。5月になると立派な丸い実をつけ、梅酒や梅干し、梅肉エキスなどで食される。

**05 ヒマラヤスギ**  
ヒマラヤ原産で明治初期に日本に持ちこまれた。枝は水平に広がり、原産地では高さ50mにも成長する。

**06 フジ**  
5月、長く垂れた紫色の穂が芳しい香りを放ち、視覚と臭覚の両方で楽しむことができる。

**07 イボタノキ**  
5~6月枝先に白い花が咲く。樹皮についたイボタロウムシが出す白いロウは、家具や生糸のつや出しに使われた。

**08 イチョウ**  
恐竜とともに多くの仲間が絶滅。今では1種だけが残り「生きた化石」といわれる。秋には「銀杏」の実をつける。

**09 ソメイヨシノ**  
サクラの代表。秋の紅葉もまた美しい。江戸末期に江戸染井村の植木屋から「吉野桜」として世に出た。

**10 シダレザクラ**  
エドヒガン系のサクラ。枝が長く垂れ下がるのが特徴。最初は淡紅白色の花が満開時には白くなる。

**11 アメリカフウ**  
別名モミジバフウ。高さ20mに成長し秋の紅葉が美しい。「高台には大きくなる木を」という思いから植えられた。

**12 キクザクラ**  
キクのように細い花が100枚以上あるキク咲きからこの名がついた。手まりのような花がとてかわい。

**13 カツラ**  
丸くハート型に近い形の葉で、新緑時期にはとても美しい。晩秋には落葉の香りが独特で醤油に似た匂いがある。

**14 コナラ**  
雑木林の代表種。ナラの仲間の中でも小さいことが名前の由来。実は最初丸い形だが、熟すと細長い形に伸びる。

**15 ツリバナ**  
山地に自生。5~6月頃数個~30個ほどの緑白色か淡紫色の花をつける。秋には朱赤色の殻に包まれた種をつける。

**16 ネムノキ**  
葉は夜になると閉じ、7月に淡紅色の美しい花を咲かせる。昔から開花の頃が小豆の種をまく最適な時期と言われる。

**17 ガズミ**  
自生種。5~6月に一斉に多数の小さな白い花をつけて華やか。秋の赤い実が美しい。

**18 ノグelm**  
日当たりのよいところに生育する。クルミとは違う形の実をつけ、食べることはできないがリースの材料として人気。

**19 ヤマボウシ**  
山陰では「おつき」と呼ばれる。5月には4枚の白い苞(ほう)をつけた花が咲き、熟れた赤い実を食べると美味。

**20 ソヨゴ**  
葉の形が波うち、風で「そよそよ」となるのが名前の由来。小さな赤い実で布を染めるとブドウ酒色に染まる。

**21 ウワミズザクラ**  
4~5月にブラシに似た形の花を咲かせ、風に揺らぐと美しい。東北では蕾の塩漬けを「杏仁子」と名付けて食する。

**22 シバグリ**  
葉の周囲がギザギザで細長い。アベマキやクスギに似ているが葉の中央部の幅が最も広いのがク。秋の実りも美味。